

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2000-116790(P2000-116790A)

【公開日】平成12年4月25日(2000.4.25)

【出願番号】特願平11-289493

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/00 (2006.01)
 A 6 1 N 1/18 (2006.01)
 G 0 1 B 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M	25/00	3 1 2
A 6 1 N	1/18	
G 0 1 B	7/00	R

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】対象物の付近において、エネルギーの場に応答する物品の導入による干渉が存在するときのエネルギーの場を使った対象物の追跡方法であって、

対象物の付近に第1のエネルギーの場を作り、

物品の導入により、第1の場に応答して誘発された寄生エネルギーの場の特性を同定し且つ決定し、

物品の導入後、対象物の複数の位置において作られた第1のエネルギーの場及び寄生エネルギーの場に応答した信号を受け、そして

第1のエネルギーの場に応答する信号に対する寄生エネルギーの場に応答する信号の位相のずれを決定することによって、作られた信号及び決定された特性に応答して対象物の空間座標を決定することを含むことを特徴とする方法。

【請求項2】対象物の付近におけるエネルギーの場を作る放射体、

対象物に固定され、エネルギーの場に応答して信号を作るセンサー、及び

エネルギーの場に応答する物品の対象物の付近への導入による信号における干渉を検知しつつ、センサーから信号を受け、これに応答する対象物の位置を決定し、物品の導入により信号の移送のずれを検知する信号処理回路を具備した対象物追跡システム。